

News Release

2022 年 12 月 19 日

チューリッヒ保険会社

長崎県西海市の「チューリッヒの森」で初めてのボランティア活動を実施 社員と西海市民ボランティア約 100 名が雪浦地区を訪れ、 間伐や除伐、樺やセンダンの植林、チップ散布、枝打ち、薪割りなどを体験

チューリッヒ保険会社(東京都中野区、日本における代表者および最高経営責任者:西浦 正親)は、2022 年 12 月 10 日(土)、長崎県西海市の「チューリッヒの森」で初めてのボランティア活動を実施しました。

当日は当社長崎オフィスの社員やその家族など 65 名が、西海市からは一般公募のボランティアや地元川内緑の少年団など 32 名の方々が参加しました。また杉澤 泰彦 西海市長にもお越しいただき、開会式にて記念植樹が行われました。参加者は、班に分かれ、間伐や除伐、樺やセンダンの植林、チップ散布、枝打ち、薪割りなどさまざまな作業を行うとともに、樹木の生育、森林の機能などについて学びました。



「チューリッヒの森」プロジェクトでは、長崎県西彼杵半島最大の流域面積を持つ雪浦川流域において、源流から川中、河口までの荒廃した森林や竹林を対象に一体的な森林整備を実施します。2022 年から 5 年間にわたり 5 か所計 33.98ha(東京ドーム約 7 個分)を整備予定で、初年度は、環境省が定める重要湿地で長崎県より自然環境保護地域に指定されている久良木湿原に隣接する荒廃森林の整備を行います。当プロジェクトにより、森林の二酸化炭素吸収を促進し地球温暖化対策に貢献するほか、防災や水源涵養、保健休養など森林の持つさまざまな公益的な機能を強化するとともに、美しい里山づくりによる地域活性化につなげます。

関連ニュースリリース(2022.10.13):

[長崎県および長崎県西海市と提携 西海市の森林整備保護活動「チューリッヒの森」プロジェクトを開始](#)

チューリッヒ保険会社の気候変動への取り組み

チューリッヒ・インシュアランス・グループ(以下、グループ)は、2014 年以来カーボンニュートラル企業として事業を行っており、2019 年には地球温暖化を 1.5°C に制限することを掲げた国連のグローバル・コンパクト「Business Ambition for 1.5°C」に最初の保険会社として署名しました。気候変動への取り組みは大きなチャレンジですが、一つ一つの積み重ねが大きな力になると信じ、お客さまや従業員、そして地域社会が私たちとともに行動を起こせるよう働きかけることで、より多くのことを成し遂げられると考えています。当社でも、日本国内において、さまざまな地球環境に対する施策を実施しています。2022 年 1 月には喫緊の課題である気候変動の問題を日本の皆さまとともに考える契機にしたいとの考えから、YouTube 公式チャンネル『[Green Music produced by Zurich](#)』を開設しました。2022 年 10 月には、当社のスーパー自動車保険の新規契約のお客さまへご自身の運転における CO2 排出をオフセットできる「カーボンニュートラル自動車」の提供を開始しました。また、長崎県および長崎県西海市と協定し、「チューリッヒ長崎の森」にて森林再生の支援を行ってまいります。当社は今後も気候変動に対する新たな取り組みを実施していく予定です。

気候変動に関する特設サイト: <https://www.zurich.co.jp/sustainability/>